

里山団体活動表

団体名	NPO法人「成田・里山を育てる会」			代表者	相原 亮司
設立時期	1999年、法人は2004年	会員数	138(*16)人	活動回数	月4回(第3日曜以外は自由参加)
活動地区	成田市、芝山町	会費	会員 年 2,500円 *賛助会員 年 2,000円		
電話番号	0476-35-1550(担当者名:相原)				
設立経緯	空港周辺の荒れた里山の姿に、早く手を加えないと取り返しのつかないことになるとの初代会長の呼びかけに賛同した市内外の多くの方々により発足した。				
団体概要	緑豊かな「成田の里山」を保全育成し、自然を大切に作る人づくりと健康で安らぎのある地域づくりを目的として活動している。会は発足当時の会員から「お子さん向け野外実習」の保護者まで多年代にわたっているが、活動者は高齢化している。				
活動する森林の状況	山林所有者支援で整備した山林は、病気の杉及び台風で倒れているものが多く、倒木処理で作業が進まない状況であった。取香川堤防わきの里山遊歩道の整備においても、倒木や竹の侵食等で荒れた状況である。アグリパークにおいては山野草のために柏木等の常緑樹の伐採を行った結果、キンラン、ギンラン等の希少植物が復活した。				
活動(作業)の内容	山林整備が当会の中心活動であるが、成田市公園緑地課の委託事業である取香川堤防及び桜公園の草刈り並びに成田空港(株)委託のアグリパークの里山づくりも行っている。また、当会の果樹園でのクリ、ブルーベリー、畑でのサツマイモ、黒豆等の収穫で会員の親睦を図っている。				
今後の活動(抱負)	委託事業も大事であるが 当会のヒノキの育成林及びクリ等の果樹園も20年となり、その間伐、枝打ち並びに剪定等も大変であるが、「お子さん向け野外実習」等で若い世代へPRして、会の世代交代に取り組んでいきたい。				
その他、何でも	行政側としても、引き続き「里山研修会」等を実施して若い世代への働きかけをしてもらいたい。				
写 真					